



新たな決意で！ ～ 2学期始業式の代表者の発表から ～

長いようで短かった夏休みも終わり、8月27日(火)から2学期がスタートしました。2学期始業式では、各学年及び生徒会本部の代表者が、2学期に向けての新たな決意を堂々と発表していました。また、その発表を聞いている生徒の真剣な眼差しからも「実りある2学期となりそうだ!」と感じさせてくれました。

一学期を振り返って

一年生代表 中村 怜生

夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。一学期の反省を私たち青学年は2学期に生かしていきたいと考えています。

青学年、そして一年二組の改善点はまず、授業中の私語が多いことです。一部の人の私語で授業が何度も止まり、わからなくなる人も見られました。この反省を生かし、2学期は一つ一つの言動に責任を持って授業を受けたら、友達と関わったりしていきたいです。

次に、忘れ物が多いことです。とにかく忘れ物が多く、提出物を忘れる人がよく見られました。そして、改善できない人が何人もいました。この反省を生かし、2学期は忘れ物を減らせるように、青学年全体が自分なりに工夫できるようにしていきたいです。

最後に学力です。初めての定期テストで慣れないこともあり、2学期が始まるためさらなる学力向上を目指し、学年生徒会でも取り組みを行います。

そんな課題が出ている私たちですが、1学期は生活委員会の取り組みから、学年生徒会でも二分前着席が入学時よりできるようになりました。でも、完璧ではないため、学年生徒会でも取り組みを行い、さらに二分前着席を磨いていきたいです。

そして学級役員として、2学期も一年二組の役に立てるように、自分の立場を理解し、ベストを尽くしていきたいです。また、2学期は一番長い期間であり、ブロック別で協力して行う麗条祭もあります。麗条祭は一年間で一番多くの先輩方と関わる機会です。先輩方の姿をお手本にし、協力して最高の思い出にできるように、青学年一同頑張りますので、よろしくお願ひします。

ブラッシュアップ

二年生代表 大森 楓

私達二年生は1学期に学年生徒会を中心に「語らい」での挨拶運動、忘れ物0の活動などを行いました。活動を通して一年生の頃よりも挨拶への意識が向上し、忘れ物をしないために何をすべきか考え、実行することができたという成果をおさめ、学年全体で成長することができました。そこで私が2学期にブラッシュアップさせていきたいと思うことが二つあります。

一つ目は、日常生活を更にブラッシュアップさせていくことです。特に一年生の頃から課題であった「メリハリを付けられないこと」「提出物の期限を守ること」という二つの課題の改善を図ってきたいです。一年生の時から改善するための取り組みを行い、呼びかけの声も多くなってきましたが、まだ課題となってしまうことは、一人ひとりの意識を更に高めていく必要があると考えています。なので、2学期は、一人ひとりの意識をさらに高められる取り組みを学年生徒会が中心に行っていきたいと考えています。活動を行っていくにあたって、「なぜ活動を行うのか」「なぜ活動が必要なのか」ということを意識することが大切であると考えています。「提出物の期限を守れない」という課題については、1学期までの現状を踏まえ、みんなで提出物を出そうという雰囲気や学年全体に広めていきたいです。また、授業中の無駄口、クラスや学年で整列する時に騒がしくなって指示が通らないことが多いという「メリハリを付けられない」という課題については、TPOにあつた行動ができるようにしたいと思っています。「今、何をすべきか」ということを考えながら行動し、よりよい日常生活が送れたり、授業に集中して取り組めたりできるようにしていきたいです。日常生活の中で良い連鎖を起し、日常生活を更にブラッシュアップさせていきたいと考えています。

二つ目は、生徒会活動を更にブラッシュアップさせていくことです。部活動では、三年生の先輩たちが引退をし、私たち二年生が最高学年となっていきます。先輩方がつくりあげてくれた部活動を引き継ぎ、しっかりと自分たちで活動できるようにしていきたいです。初めのうちは、先輩方のように上手にリーダーシップを取ることができないかもしれませんが、仲間や一年生に支えてもらいながらしっかりと活動が行えるようにしていきたいです。まずは、2学期にある新人戦に向けてがんばっていききたいと思っています。また、去年は初めての麗条祭であったので、どのように活動したらいいのか分からず戸惑うことが多かったのです。しかし、私たち二年生は、二回目の麗条祭であるので、自分たちで考え、自分たちで行動し、より充実した活動ができると思います。麗条祭を成功させるため、仲間と協力をし、積極的に活動に取り組みしていきたいと思っています。さらに、2学期後半には、生徒会選挙があり、来年度の生徒会活動についてみんなで考えていくこととなります。三年生の先輩たちの姿をよく見て、生徒会活動をブラッシュアップさせていきたいです。

2学期は行事も多く、忙しくなりますが、この二つのことを意識し、集団としても個人としても更に成長していける学期にしていきたいと思っています。

二期の抱負と受験に向けて

三年生代表 深澤 佑吾

勝負の夏と言われる夏休みを終え、二期に入る中で頑張りたいことは三つあります。

一つ目は勉強です。部活動とクラブチームの活動にも一区切りつき、家にいる時間も多くなります。受験生としての自覚を持ち、生活の中心を勉強へとシフトしていきたいです。今まで野球に時間を割いてきた分、人一倍勉強の時間を大切にしていきたいです。また、評定が調査書にかけるのは二期が最後のので二期最終日に悔いの残らないようにしたいです。

二つ目は、麗条祭です。生徒会最大行事であり、最後の麗条祭に対して、三年生はみんな強い思いをもっています。今年は何部やブロック、学級など前に出て引張ることが多くなります。一学期のブロック活動では最上級生らしい姿が見せられず個人としてもクラスとしても課題が残りました。二期はこの反省を活かし、全員で麗条祭成功のために行動していきたいです。

三つ目は、野球です。山梨のクラブチームでの活動は一段落つきましたが、高校に向けた力を身につけるといって、新しく長野のクラブチームに入りました。勉強に力を入れながらも受験勉強期間のプランクを感じることもなく高校生活を送るために頑張っていきたいです。

このように、勉強に重きを置きながらも、勉強を理由にほかを疎かにするのではなく、最上級生として全校を引っ張り、学校生活も悔いの残らぬようにしていきたいです。また、受験で合格することがゴールではなく、その先も見据えて行動できるようにしていきたいです。

二期に向けて

生徒会代表 塩見 叶恋

みなさんはこの夏休みどのように過ごしましたか。

今学期には生徒会最大行事の麗条祭があります。今年の麗条祭のテーマは「希創」です。「希創」とは、『ゼロから生み出す』という意味の強い言葉です。今年からは校歌の全校合唱があったり、体育部門のブロック対抗が新種目に変わったりします。新しいことにも「希創」のテーマを意識して取り組んでください。麗条祭の部門別活動のときには自分のやるべきことを考えて行動できるようにしましょう。

行事に向けて日常生活をきちんとすることが大切だと思います。生徒総会承認事項の「忘れ物0運動」を明日から行います。二期をしつかりとスタートできるように取り組みたいです。

二期は一年間の中で一番長い学期です。自分で目標を立て、それに向かって努力できると良いと思います。全員で上条中学校を創っていくという意識を持って活動に臨んでいきましょう。

二期の生徒会活動にもご協力よろしくお願いします。

キャッチボールは思いやり ～ 1年生：アスリート教室 ～

9月2日(月)の1・2校時にかけて1年生の体育の授業でアスリート教室を行いました。世界ソフトボール5大会連続出場の河野美里(かわの みさと)選手を講師にお招きし、キャッチボールやバッティングなどについて、わかりやすく技術指導をしていただきました。台風一過のとても暑い中でしたが、本物のアスリートに教えてもらえることもあって、生徒の皆さんはとても一生懸命に授業に参加していました。また、河野選手は、キャッチボールの指導のときに「相手がとりやすいボールを投げること。相手の投げたボールがそれでも捕ってあげる。キャッチボールをするにも思いやりが必要」ということも教えてくれました。普段、何気なくプレーしていることの中にも、多くの学びがありました。



「働く」とは? ～ 2年生：職場体験学習終わる ～

キャリア教育の一環として、2年生は1学期から職場体験学習の事前学習に取り組んできました。そして、7月23日(火)から8月19日(月)までの間、実際の職場に出向いて体験学習を行いました。事務所や店舗などの都合に合わせ、一人1日から3日間それぞれの職場での労働を通して働くことの意義や仕事の内容などを学んできました。この体験学習で得たことを今後の自分の人生に役立てていきましょう。また、この職場体験学習のために、今年もたくさんの事業所や店舗の方々に、生徒の受け入れやご指導をいただき、心より感謝申し上げます。



甲府中央郵便局での郵便業務